

北海道離島探訪～利尻島・礼文島・天売島・焼尻島

2025年 ご旅行期間とご旅行代金

7月28日(月)発～8月2日(土)着
 千歳発着…¥339,800
 羽田発着…¥369,600
 お一人部屋利用追加料金 ¥48,000

ご旅行条件

- 募集人数/10名様定員
- 最少催行人数/5名様
- お食事/朝食5回・昼食5回・夕食5回
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス
 【ご自宅～空港～ご自宅】
- ※観光地への訪問は天候などの状況により順序を変更してご案内する場合がございます。
- ※当ツアーは事前購入割引運賃利用商品となりますので予約時からキャンセル料がかかる場合がございます。
- ※右記の「○」はお食事の有を示します。「×」の食事は含まれておりません。
- (注)スーツケースは羽幌に預け、天売島には一泊分のお荷物をご注意ください。

ご利用予定ホテル

- 利尻島/利尻富士観光ホテル、ホテルあや瀬、北国グランドホテル、ホテル利尻、利尻マリンホテル、ホテル雲丹御殿
- 礼文島/ホテル礼文、花れぶん、三井観光ホテル
- 稚内/サフィールホテル稚内、ドーミーイン稚内、ホテル美雪、稚内グランドホテル
- 天売島/島の宿・大ー
 (風呂・トイレは共同となります)
- 羽幌/サンセットプラザ羽幌
- ※上記または同等クラスとなります。
- ※上記一部ホテルは和室となりますので予めご了承ください。

ご利用バス会社

宗谷バス、時計台バス株式会社、北海道グローバル観光バス、北都交通株式会社、株式会社エエルム観光バス、札幌第一観光バス株式会社
 ※長距離移動の際、専用バスのお座席はお一人様2席利用ですが、離島では小型車やジャンボタクシーに分乗となります。予めお含みおさください。

日次	都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	(羽田) 千歳 利尻島	スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港 ■午後、千歳空港より、全日空にて花の浮島・利尻島へ[12:50発/13:45着]。 ※羽田発着も承ります(午前、羽田空港より、利尻空港へ[10:15発/11:45着]。着後、千歳発グループ到着まで自由時間)。 ■夕食には、利尻島名物の新鮮な海の幸をお召し上がりください。 [×・×・○][利尻島泊]
2	利尻島 礼文島	■午前、専用車にて利尻島島内観光です(白亜の灯台が立つペン岬、銘菓『白い恋人』に描かれた風景・沼浦展望台、湖面に映る利尻富士の鏡絵を拝む姫沼など)。 ■午後、鷺泊港より、フェリーにて最北端の島・礼文島の香深港へ[13:15発/14:00着]。 ■着後、礼文島島内観光です(桃岩展望台、北のカナリアパークなど)。 [○・○・○][礼文島泊]
3	礼文島 稚内	■午前、礼文島島内観光です(礼文島最北端・スコトン岬、レブンウスユキソウが見られる高山植物園など)。 ■午後、香深港より、フェリーにて稚内へ[14:20発/16:15着]。 ■着後、ホテルへ。 [○・○・○][稚内泊]
4	稚内 羽幌 天売島	■午前、専用車にて羽幌へ。 ■着後、羽幌港より、高速船にて、世界最大のウトウの繁殖地天売島へ[11:40発/12:40着](注)。 ■着後、漁船クルーズで島を一周します。 ■夕食は、天売島名物のウニやアワビなど、新鮮な海の幸をお楽しみください。 ■夕食後、希望者でウトウのナイトウォッチングにご案内いたします。 [○・○・○][天売島泊]
5	天売島 焼尻島 羽幌	■朝、混載車にて天売島内観光。天売島のシンボル「赤岩」、島の最高点に近接する海鳥観察舎、海鳥が生息する百数十メートルの断崖絶壁が一望できる観音崎展望台を巡ります[天売島内は混載車利用です]。 ■午前、フェリーにて、自然林と野草の宝庫・焼尻島へ[10:25発/10:50着]。 ■着後、360度の景色が見渡せる鷹の巣園地「地を這う森」オンコの荘、水辺のある森林・雲雀ヶ丘公園など、焼尻島の観光へご案内します(人数により混載ツアーとなります)。 ■昼食は、焼尻のサフォーク『ブレサレ(世界で最も有名な高級仔羊)』をご賞味ください。 ■夕刻、フェリーにて羽幌へ[16:25発/17:25着]。 [○・○・○][羽幌泊]
6	羽幌 千歳 (羽田)	■午前、専用車にて千歳空港へ。 ■着後、解散。※羽田発着 [16:30発/18:10着]。 スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅 [○・○・×]

白い恋人展望台[利尻島]



羊牧場[焼尻島]



赤岩[天売島]



レブンウスユキソウ[礼文島]



礼文島でしか見られない礼文島固有種『レブンウスユキソウ』
 礼文島は「花の浮島」と呼ばれ、日本で最も北にある島の雄大な自然が育んだ花の種類は300種類におよびます。レブンウスユキソウは7月に咲く花の主役。日本のエーデルワイスとも呼ばれ、ウスユキ(薄雪)の名前のもとになっている星形の白い花弁のようなものは、実は葉が変化したものです。通常高山植物園でもご覧いただけます。



天売島は海鳥の楽園です(イメージ)